



SESERAGI—MISHIMA  
ROTARY CLUB  
WEEKLY REPORT

クラブ  
週報

2023～2024年度 RI会長 ゴードンR.マッキナリー  
RIテーマ 世界に希望を生み出そう

クラブテーマ「芽生えた双葉を育て、希望の花を咲かせよう！」

会長 岡良森 幹事 篠木喜世

第1563回 例会  
2024.4.19(金)晴

司会：高村勝則君

ロータリーソング「日も風も星も」指揮：杉山君

事務所 三島市泉町9-8 1F南  
TEL.055-976-6351 FAX.055-976-6352

<http://www.seseragi-mishima-rc.gr.jp>

せせらぎ三島ロータリークラブ

検索

例会場 呉竹

TEL.055-975-3210  
毎週金曜日 第1・第3 夜間例会

## 会長挨拶

会長 岡良森君



先週の記念事業、改めまして皆さんに感謝申し上げます。準備期間の少ない中、若干のハプニングがありながらも無事行うことができました。山口実行委員長長の指揮の下、野村社会奉仕委員長、田村親睦委員長、鈴木SAA委員長をはじめ皆さんが役割をきっちり進められ、淡々と進行することができました。ハプニングの際の中村先生の冷静な対応、当事者へ優しく声掛けして下さった加藤さん、本当に助かりました。

多くのお客様からお褒めの言葉を頂戴しました。市の関係者からは、中学生対象に検討したいとのこと伺いました。コンテンツの中身が充実していたこともあり、市民の皆さんからのご寄付は17万円を超えまし、ウクライナ関連グッズ販売は、4万円程に達成することができました。また、友情でブースを開設して下さった順天堂大学チームや田方農業高校チームの皆さんからは「多くの方が関心を持って下さったので良かったです」とのことでした。

本日のプログラムは、地区協議会の報告となります。いよいよ次年度が動き出したということです。仲原エレクトはじめ原幹事そして各委員長の奮闘をお祈りいたします。また、卓話の後半の時間では、来月17日の記念例会及び式典の固まっている部分についての共有をしたいと考えております。いずれにしても今年度は、最終コーナーを周り直線ラストスパートとなります。皆さんのご協力を得て走り切りたいと思っております。

3か月ほど前の会長挨拶で石川県七尾市の七尾ロータリークラブのお話をさせていただきました。その後の経過を知たくて先方のホームページを検索したところ、例会は以降も開催されていない様子です。同クラブが親クラブの七尾みなとロータリークラブも同様のようです。このクラブ例会場の入口に看板が掲げられている写真を見ました。感じるものがあったので紹介します 入って学び出でて奉仕せよ

本日の“乗り鉄”ネタは、夏準備です。

夏といえば北海道、北海道といえばノロック号です。くしろ湿原を運行するこの列車は、35周年で当クラブと同じ歴史を持っております。そして近年人気の富良野エリアのノロック号もあります。連休後の段取りでは間に合いません。家族旅行に最適かと思えます。

## 出席報告

	出席総数	出席率	メイクアップ	修正出席率
前々回	31/37	83.78%	37/37	100%
今回	30/37	81.10%	会員総数	40名

欠席者 あなたが見えなくて残念でした。

石井(和)君、石井(司)君、伊丹君、大村君、杉橋君、服部君、吉村君

(\*出席免除会員の欠席者 遠藤君 片野君 山本君)

## おめでとう

会員誕生日 4月20日 大庭靖貴君  
入会記念日 4月20日 岡良森君  
4月30日 土屋巧君



## 地区研修・協議会報告

伊丹雅治君

研修協議会に参加し、次期公共イメージ委員会 小野委員長(甲府西)のお話を聞きました。以下はその内容と、次のステップに向けた提案です。

### 1. マイロータリーの登録と活用の推進

- マイロータリーへの登録の重要性について説明がありました。登録の目的は、ロータリーのテーマ、スローガン、ビジョンなどを共有し、意思統一を図ることです。特にパソコンが苦手な方へのサポートも強調されました。数値目標は60%から80%への向上で、代理登録も積極的に行う予定です。

### 2. ブランドリソースセンターの活用

- ロータリーの知名度向上のために、ブランドリソースセンターの活用が提案されました。現在のロータリーの知名度が低いことや、誤解があることが指摘されました。一般の方にロータリークラブの活動や価値を理解してもらうために、具体的な情報発信が必要です。地域密着の活動やポリオ撲滅などの取り組みをもっと広く知ってもらうために、ブランドリソースセンターの素材を活用することが目標です。

### 3. SNSや地元メディアでPR

- ロータリーの名前を広く理解し、会員増強の伏線を張るために、SNSや地元メディアでのPRが重要視されました。地区のオリジナルパンフレットの作成も予定されています。

#### 提案:

今後はマイロータリーへの登録推進やブランドリソースセンターの活用を積極的に行い、SNSや地元メディアを活用して広報活動を強化していくことが重要です。目標達成に向けて、クラブ内での協力体制の構築や情報発信の充実が求められます。

杉橋聡君

今回、初めての参加となりました。

世界組織であるというスケールメリットを持ち、大規模な奉仕活動が継続され世界の人々に影響を与え続けるロータリークラブが、どのような理念・手法によって運営されているかを知る機会を得ることが出来ました。

これまでロータリーの大きさというものを感じるたび、自身の活動の励みとなってきましたが、心構えやモチベーションの部分だけでなく、今後の主体的な活動を行っていくにあたっての行動指針を持つような、より具体的なロータリー活動というものをイメージできる研修・協議会でした。

まだまだ先の長いロータリアン人生の糧として、ロータリーに励みたいと思います。

宮澤友一君

今回初めて地区研修・協議会に参加させて頂きました。

入会して間もないですのでロータリーの意味・目的等まだまだわからない部分が多々ありますが、今回、会長エレクトやガバナーエレクトなどのお話し聞き、テーマや目標に沿って活動をしているのだという事を理解することができました。まだ内容や用語の意味など理解してない部分も多々ありますがクラブの諸先輩方に教えていただき学んでいきたいと思っています。

今後、自分自身もクラブ活動に楽しみを見つけながら、クラブや地区の目標に対して少しでも貢献できるよう努めて参りたいと思います。

吉村真人君

ロータリーに入会して2年を終えようとしていますが、機会に恵まれず静岡第1グループ以外の例会や研修に参加したことがありません。3年目を迎える今、地区研修会の機会を頂き有難うございました。今まではロータリーの用語がわからないまま過ごしてきました。用語を知らなくても活動はでき、活動そのものに不便がなかったからです。しかし、今回の研修を聞いてどのような立場の方がどのような規模の講義をされているのか全く分からずアーク RI 会長エレクトのテーマをどのように浸透させていくのか聞いて非常に興味を持ちました。そこで冒頭の RI 会長エレクトのテーマ「THE MAGIC OF ROTARY」です。マジックとは魔法や手品、まやかし、トリックなどの意味があるようですが、語源はそこにあれ女性ならではの感受性とコンサルという仕事柄、非常に興味のある中身の膨らむテーマでした。少年との出会、濁った水をきれいして見せたこと。少年がマジックだと思ったこと。これは魔法や、手品トリックでもない現実の事です。そしてこのテーマが自分を変え世界を変えるという壮大な目的をもっているということ。そしてその手法は優先事項に掲げられるテーマである事。一丁目一番地のポリオ根絶活動や会員増強、平和構築、継続性について行動計画をもとに実践していきたいと思えます。特に DEI については行動規範ですので自己成長の為、行動に移していきたいと思えます。この行動こそがひとりひとりがマジックを生むという事につながっていくことかと思えます。またロゴについても素晴らしい意味が込められています。ロゴをみて思ったことは流れ星をすぐに浮かべました。目を閉じて願い事を叶えるのが流れ星ですが、RI 会長エレクトはそんな夢のような話ではなくて、オレンジの情熱と変化を表す終わり始まりの継続性、スカイブルーは知識と知性、オープンコミュニティを表しているようです。しっかりと意味を理解して活動していきます。午前中の最後のセッションではこのテーマについて議論されていましたがそれぞれの考え方があっても向かう先は全て同じであることを再認識いたしました。全世界の活動とまではいきませんが、在籍するせせらぎ三島ロータリークラブの活動を理解して自己成長をして SINPLY IRRESISTIBL のもと自覚をもったメンバーの一人になれるように努力していきます。後半については各委員会の発表を聞きましたが、まずは自分の活動をしっかり見つめていくように致します。最後になりますがお昼休みの PV が万博の案内でした。頭このころほどの繰返し映像が流れていました。是非皆さんで万博へ行きましょう！とりとめのない文章で申し訳ございません。THE MAGIC OF ROTARY にむかって精進致します。

原 兄多君

地区の方針や分科会の報告等については、会長や担当委員長の報告のとおりです。

私の感想としては、やはりロータリーは国際組織であり、その年の会長やRLI、地区の方針があって、それこしたがつて1年行動していくのだ、ということです。特に身近な地区の方針・依頼事項については、すべてクラブメンバーにお伝えしたいと思います。そのうえで、クラブの方針や独自性と言ったものが出せれば良いと思いますが、まずは原理・原則(地区の方針)をメンバーに知っていただくことが大切だと思いました。

今回の地区研修・協議会を通じて感じたことは、年々やるが増えるな~ということです。例えばIT関連だけでも、マイロータリー、クラブセントラル、ラーニングセンター、ジャパンロータリー等々何かから手をつけて良いか悩んでしまいます。

まずは、私自身ラーニングセンターで幹事の役割を勉強しますので、皆さんもできることから手をつけていただければと思います。

三輪暁生君

2024-2025 RI会長テーマとしてThe Magic of Rotary(ロータリーのマジック)を発表され、そのエピソードには、ドミニカ共和国での浄水器の設置により、汚い水がフィルターを通ると透明な水が出てくるのを見た少年が魔法と言ったそうです。その話を聞き、カンボジアの井戸事業の大切さと必要性を改めて感じました。今回のカンボジア井戸事業へ参加したいと思います。

成田美幸君

華やかなオープニングムービーの後に、出席者の紹介をされ、本会議が開会された。まずは、中村ガバナーによる挨拶にはじまり、次期RIテーマ・RI年次目標の解説および地区年次計画を小泉ガバナーエレクトから説明がされた。その後、第2地域ロータリーコーディネーター野口氏から「次期会長テーマと主要事項に見るRIの新しい方向性」という基調講演が実施された。

休憩後には、公益財団法人米山梅吉記念館の松村理事長より挨拶をいただいた後に、次期国際大会推進委員会の齊藤委員長より、カルガリー国際大会のPRがされた。その後、講和としてロータリーの友委員会高野委員長より「ロータリーの友」～ラーニング&クラブ活性化のヒント～というお話をいただいた。続いて、次期委員長から各委員会活動方針の発表が実施された。次期委員会は、「公共イメージ委員会」「会員増強委員会」「ロータリー財団委員会」「奉仕活動委員会」「ロータリープログラム委員会」「米山記念奨学委員会」「RLI委員会」「学友委員会」「地区危機管理委員会」の10委員会となる。

そして、次年度事業計画と予算の承認報告がなされた後に、次年度ホストクラブとして伊東西RCが紹介された。最後に総評・謝辞を経て閉会となった。

私自身ロータリーに入会して間もないため、専門の用語があったりと全てが理解出来たわけではないが、志を同じくするロータリアンが活動していることを目の当たりにしたことにより、今後の活動に対して積極的に邁進していこうという気持ちになることが出来た。

渡邊仁也君

地区研修・協議会に参加させていただきありがとうございました。ロータリークラブの仲間に入れていただき 9 カ月、まだまだ若輩者です。ロータリークラブでの活動はせせらぎ三島での活動しか知りませんでしたが、今回参加させていただき、ロータリークラブの目指しているものや、その大きさを知ることがあらためて出来ました。冊子もいただいたので、再度復習しようと思います。ロータリーカードからの寄付のシステムには感動しました。クレジットカードを使えば自動で寄付ができるのはすごいです。機会あれば是非作りたいです。その他 7 時間以上にわたる内容全てが魅力的なものでしたので、あえて一言でまとめさせて下さい。ロータリークラブに入れていただき、ありがとうございました。

高橋大輔君

次年度社会奉仕委員長遠藤さんの代理で出席させていただきました。

地区からは、次年度も地区グループ単位の奉仕作業を行ってほしいとのことでした。

次年度で三年目になるそうです。

課題はロータリーの7つの重点分野に沿ったものを推奨し、グループ内のすべてのクラブが参加するものとのことでした。

事業予算として1グループ30万円を地区から支援して頂けるとのことでした。

クラブ単位では、地区内クラブの奉仕活動カレンダーを作成し、他クラブの奉仕活動への参加促進を図ってほしいとのことでした。またガバナーエレクトからは、「地区内クラブのステータス奉仕作業の確立を支援」ということで、

- ①長きに渡って奉仕作業によりステータスとなる事業の確立
  - ②よりインパクトの大きい奉仕作業を行いステータスを確立
  - ③より多くの人を巻き込む奉仕事業を行いステータスを確立
- 以上の事を踏まえ、遠藤委員長と次年度進めて行ければと思います。

藤川智徳君

地区研修当日のZOOMでは仕事のため欠席しましたが、後に原君がご丁寧にムービーを送ってくれましてある程度それを見ましたので感想を述べます。

担当部会の青少年育成のことについては正直、良くわかりませんでしたのでそれについては割愛します。

全体を通して印象的だったのは次年度RI会長ステファニーAアーチックさんの演説です。女性でRI会長を務めるのは多分2人目になると思いますが、彼女はロータリーに入会してからかなりの数の役職や理事・委員長を歴任し様々な国へ奉仕活動を展開してきた行動派の方です。

今までだと割りとデジタル発想が強めな感じのRI会長が多い中彼女の次年度テーマは「ロータリーのマジック」と名づけるなど意外と乙女チックで且つ現実の問題点に直視して改善を試みる人なんだと思いました。

最初は「ロータリーのマジック」なんて何を言っているのかわからないと思いましたが、その由来は彼女が以前ドミニカ共和国へ行って浄水器の設置に行った際に現地の少年が汚い水が一瞬で綺麗な水に変わる様子を見てえらく驚き「もう一度、魔法を見せて」と言ったそうです。そして安全な水を簡単に入手できれば自分達の人生が変わるということを少年たちは知っていて、尚且つ提供した彼女自身がその力になれたことを知ったことで自分の人生も変わったと延べています。

僕達もカンボジアに行って綺麗な水を提供できていることは単に水だけのことでなく彼らの人生そのものを好転させ、さらにはその力になれたことを知った自分達もその成果に喜びを感じ僕達自身も成長できている気がします。

ステファニーさんはきっとそうしたロータリー会員一人ひとりの優しさ・行動力そして魅力ある力に期待を寄せ、それを「マジック」と名づけ世界の平和と幸せを乙女チックに夢見ながら会員のみならず力を合わせ進んでいこうとしているのだと思います。

僕もその一員としてこれからも努力してまいります。



## スマイルボックス

岡 良森君:地球のステージ、皆さんのおかげで乗り切ることができました。ありがとうございました。

米山晴敏君:先週の35周年事業「地球のステージ」他クラブの会長さんたちからも絶賛でした。実行委員会の皆様もお疲れ様でした。スマイルします。

山口辰哉君:先日の35周年記念イベント「地球のステージ」に際しては会員の皆様の並々ならぬご協力、本当にありがとうございました。このあとは5月17日の記念式典です。よろしくお祈りします。

原 兄多君:このたび宅建協会東部支部三島地区の役員を拝命しました。先輩役員である田村さんや大庭さんの指導のもと、職業奉仕の精神で頑張りたいと思います。

篠木喜世君:5月20日(月)にプラザでチャリティーライブをします。チケットあります～。千客万来を願いスマイルします。

土屋和彦君:35周年イベント「地球のステージ」お疲れ様でした。

杉山寿美子君:地球のステージ素晴らしかったですね。皆様お疲れ様でした。ステージ上の懸垂幕の字が見え辛く反省です。電球色のライトを確認すればよかったです。次回に生かします。

渡邊仁也君:地球のステージ素晴らしかったです。スマイルします。

宮澤友一君:地球のステージお疲れ様でした。昨日、阪神サヨナラ勝ちありがとうございました。本日、二軍はくふうハヤテにサヨナラ負けです。

## 委嘱状



RLIファシリテーター 仲原実圭君

## ROTARY NEWS

世界中で活躍する「行動人」  
2024年5月

### メキシコ

ヌエボサンタフェ・ロータリークラブは、米国との国境にある町ヌエボ・ラレドの低所得地域にある学校にコミュニティキッチンを作り、何百人もの子どもに食事を提供しています。「この地域では、ほとんどの家庭に水道や電気がありません」と同クラブ会長のホルヘ・テヨさんは言います。同クラブは2018年に15万ドルのコミュニティキッチン・プロジェクトを立ちあげ、コモドルサンタマリア学校で2020年8月にコミュニティキッチンを開業しました。コロナ禍により当初は持ち帰りのみでしたが、2021年5月に食堂もオープンしました。「毎日230人の子どもに朝食と昼食を提供するのに、運営費が9,300ドルかかります」とテヨさん。その資金は企業や個人からの寄付金でまかなっています。クラブ会員が運営を監督し、ロータリアンがキッチンにソーラーパネルを提供しています。

### ブルンジ

複数の大陸にわたるロータリー会員の協力によって、ブルンジの一人の子どもの脊椎手術が実現しました。マイッサという名のこの少女は、早期発症型の脊柱側弯症(脊椎の湾曲)を患っていました。ブルンジで活動するベルギー人外科医のチームはマイッサが緊急手術を必要すると診断しましたが、国内でこの手術ができる医師が見つからず、家族には国外で手術を受けさせる経済的余裕がありませんでした。そこで医師たちは、医療ミッションのコーディネーターを務めた経験のあるピエール・デ・フリースさん(ガンドマリタイム・アントワープ・ロータリークラブ所属)に連絡を取り、費用を抑えるためにインドから外科医を募るよう援助を求めました。手術を必要とする少女の話は、ロータリー財団グローバル補助金を利用してインドの脊椎財団の活動を支援しているエルス・レイナース・キニさん(ムンバイボ・ロータリークラブ所属)に伝えられました。11月には、アパイ・ネネ医師とハーシャル・バブラル・バン医師の二人が自費でブルンジに赴き、マイッサさん(現在6歳)に最初の手術を行いました。ブルンジでの医療活動を拡大しようとしているレイナース・キニさんは、マイッサさんの母親マルティエヌ・カラボーナさんの感謝の言葉を伝えています。「マイッサが自信に満ちた女性に成長できるように新たな人生を与えてくれただけでなく、今回のことで私たち全員がとても親しくなり、今ではインド、ベルギー、ブルンジに広がる真のグローバルファミリーとなりました」

この記事は、Rotary 誌の2024年5月号に掲載されました